

自分に合うプロのオーガナイザーを見極めるには

*自分のニーズに合ったプロのオーガナイザーを見極める際に
覚えておきたい質問事項や考慮する点についていくつかご紹介します。*

自己評価

ニーズを明確にして自分に合うオーガナイザーを見つけましょう。

- オーガナイズについてどのようなお手伝いが必要ですか。オーガナイズの専門は多岐に及ぶので、一般的なものからCD（慢性的に片づけられない）状態を専門にするものまで様々あります。住宅または企業を専門に扱うオーガナイザーから、書類の整理や引っ越しを扱うオーガナイザーもいます。
- オーガナイズに関するお悩みは何ですか。
- クローゼットやファイリングシステムの整理など
- 単発の作業にお手伝いが必要ですか。それとも、家全体の整理などもっと複雑で長期継続的な支援が必要ですか。
- オーガナイズに関する目的を達成するために使う時間や費用はありますか。
- オーガナイズが今までずっと悩みの種でしたか。もしそうなら、CD状態の人の支援を専門にするオーガナイザーにご相談ください。

問い合わせ

最初に相談する際の会話に注意しましょう。今後良い関係を築くための指針になります。

- オーガナイザーは誰かの紹介、広告、オーガナイザー協会、記事、ネット検索などどのように探しましたか。
- 最初に連絡したときの対応は早かったですか。
- 質問にはすべて答えてくれましたか。
- 特定の悩みやオーガナイズの目的をきちんと理解してくれましたか。
- オーガナイザーから批判的な態度は取られませんでしたか。
- 接していて心地よい相手でしたか。
- 一緒に作業して良かったと思える相手ですか。

ICD® Fact Sheet – 009 自分にぴったりのプロのオーガナイザーを見極めるには
Linda Samuels, CPO-CD® 著・2019年6月7日改訂

©Linda Samuels -このファクトシートは教育目的でのみ複製可能です。著作権表示が必要です。
ファクトシートやその他の資料はICDのウェブサイトwww.challengingdisorganization.orgから入手できます。

自分に合うプロのオーガナイザーを見極めるには

利便性

どんな選択肢があるか理解しましょう。オーガナイザーはクライアント重視のサービス業ですが、オーガナイザーによって提供できる内容はそれぞれ異なります。

- お互いのスケジュールは合いそうですか。
- そのオーガナイザーは希望のスケジュールに対応してくれますか。
- そのオーガナイザーは希望の時間内で作業を開始または終了することができますか。
- 夕方や週末に作業を希望しますか。もしそうなら、そのオーガナイザーはその時間帯に対応してくれますか。または、平日のみのですか。

リサーチ

多くの情報をもとに決断できるよう、さらに掘り下げましょう。

- 複数のオーガナイザーから話を聞きましたか。オーガナイザーによって性格、ビジネスモデル、手順が異なります。何人かのオーガナイザーに連絡して違いを比べるのも良い方法かもしれません。
- そのオーガナイザーのウェブサイトはありますか。ある場合は、そのオーガナイザーの人柄や仕事ぶりについて詳しく確認しましたか。どのような印象を受けましたか。
- オーガナイザーにクライアントを紹介してほしいと尋ねましたか。その場合、そのクライアントとどのような仕事をしたのか、期間はどれくらいだったかを考慮に入れましょう。紹介してもらったクライアントの人はどのような経験談を話してくれましたか。

直感を信じる

自分の直感を信じて判断しましょう。

- そのオーガナイザーについてどう感じたか、心の声に耳を傾けましょう。
- そのオーガナイザーとは問題なく意思の疎通ができましたか。
- そのオーガナイザーと話すことで前向きな気持ちになれましたか。それとも諦めたい気持ちになりましたか。

ICD® Fact Sheet – 009 自分にぴったりのプロのオーガナイザーを見極めるには
Linda Samuels, CPO-CD® 著・2019年6月7日改訂

©Linda Samuels -このファクトシートは教育目的でのみ複製可能です。著作権表示が必要です。
ファクトシートやその他の資料はICDのウェブサイトwww.challengingdisorganization.orgから入手できます。

自分に合うプロのオーガナイザーを見極めるには

知識と経験

オーガナイザーの知識と経験によって、オーガナイズがうまくいくかどうか左右されることを理解しましょう。

- そのオーガナイザーはどのような専門教育や訓練を受けていますか。
- そのオーガナイザーは他の専門家、出版物、製品など必要な情報を共有してくれますか。
- オーガナイザーの経験年数はどのくらいですか。
- そのオーガナイザーは、ICD（Institute for Challenging Disorganization）のようなプロのオーガナイザー協会に所属していますか。その業界との関わりが深ければ、クライアントにもさらに価値の高いものを提供してくれます。
- オーガナイザーになる前はどんな仕事をしていましたか。
- そのオーガナイザーは、オーガナイザー関連の問題や傾向について今でも知識を習得しようとしていますか。

プロのオーガナイザーは世界中に何千人もいます。サービスを受けるクライアントと同じように、オーガナイザーそれぞれに個性があります。みなさんと同じく、オーガナイザーもクライアントと良い関係を築きたいと思っています。そのオーガナイザーが自分のニーズに合わない場合は、みなさんの希望を叶えてくれる他のオーガナイザーを紹介してくれるはずです。これまでの質問内容を考慮することで、自分にぴったりのオーガナイザーを見つけましょう。